

点検・評価の結果

政府統計コード	00500219
基幹・一般の別(選択記入)	特定一般統計調査
調査の名称	木材流通統計調査(木材流通構造調査)
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="radio"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="radio"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="radio"/> 月例経済報告に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="radio"/> その他(森林・林業白書の作成に利用 等)
特記事項	

① 調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 (整合している場合チェック)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 1.調査の目的 <input checked="" type="checkbox"/> 2.調査対象の範囲※ <input checked="" type="checkbox"/> 3.報告者数等※ } 報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等 <input checked="" type="checkbox"/> 4.報告事項とその基準期日※ } 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 <input checked="" type="checkbox"/> 5.報告の方法※ } 報告を求めるために用いる方法 <input checked="" type="checkbox"/> 6.報告を求める期間※ <input checked="" type="checkbox"/> 7.集計事項※ <input type="checkbox"/> 8.結果の公表方法及び期日※ } 調査結果の公表の方法及び期日 <input checked="" type="checkbox"/> 9.使用する統計基準 <input checked="" type="checkbox"/> 10.調査票情報の保存 } 調査票情報の保存期間及び保存責任者 <input checked="" type="checkbox"/> 11.立入検査 } 基幹統計調査のみ 	} <p style="font-size: 1.5em; margin: 0;">一部不整合あり</p> {
-----------------------------	--	---

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討(予定)している事項がある場合はシート②で記載

点検・評価事項等 不整合の項目	調査計画との整合性		不整合が生じている場合の対応状況			
	不整合の概要 (該当項目に○を入力し、概要を記載。複数選択可能)		対応方法 (複数選択可能)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)	
8. 調査結果の公表の方法及び期日※	○	公表実施時期 e-Statの掲載 その他	公表媒体 閲覧表	調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備充実 実施方法の見直し	その他	公表遅延が起きないようにスケジュールの適切な管理を行う。
		特記事項 (○をつけた項目の概要を記載してください) 「数値の精査等に時間を要し公表が遅延(なお、公表日が遅れる理由及び新たな公表日を農林水産省ホームページに掲載)」		○	その他	

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等	<ul style="list-style-type: none"> □ 課題なし □ 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む） □ その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）
---	---

	見直し・改善の概要(自由記入)	見直し・改善の内容(左記の種類) (該当するものを選択、複数選択可能)	見直し・改善の対応方法・手段 (複数選択可能)	対応状況 (選択記入)
記入欄 No. 1	次回の調査計画の申請時に、以下の点について明文化及び変更を行う。 ・調査計画上の調査対象の範囲において、「国および公共機関に属するものを除外する」旨を記載。 ・報告者の選定方法に記載のある「工業統計調査」はすでに廃止しているため、調査名を修正する。 ・速報と確報とで公表資料の変更が想定されないため、従来の速報公表のタイミングで確定した詳細な数値を公表する。	<input type="radio"/> 調査計画の見直し・改善 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	<input type="radio"/> 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定

③必要な精度の確保・向上の観点

	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
1 調査の実施目的を確保するための 精度管理の実施状況	<input type="radio"/> 達成精度	以下の項目ごとに目標精度を5%に設定した。 製材工場→製材品出荷量 合単板工場→普通合板出荷量 特殊合板出荷量 プレカット工場→プレカット材料入荷量 集成材工場→集成材出荷量 木材流通業者→木材製品販売量 木材チップ工場→木材チップ販売量 なお、LVL工場及びCLT工場については、全数調査のため目標精度は設定しない。	令和5年2月9日(統計法(平成19年法律第53号)第21条第1項に基づく承認申請)	令和5年調査 (対象:実績精度) 製材工場:9.0% 合単板工場 普通合板:4.4% 特殊合板:22.9% プレカット工場:9.7% 集成材工場:4.5% 木材チップ工場:10.9% 木材流通業:19.5% (対象:有効回答率) LVL工場:78.6% CLT工場:90.0%	平成30年調査 (対象:実績精度) 製材工場:6.0% 合単板工場 普通合板:3.4% 特殊合板:8.5% プレカット工場:13.6% 集成材工場:5.2% 木材チップ工場:9.1% 木材流通業:13.2% (対象:有効回答率) LVL工場:100% CLT工場:100%	平成28年調査 (対象:実績精度) 製材工場:25.2% 合単板工場 普通合板:13.9% 特殊合板:33.9% プレカット工場:7.0% 集成材工場:12.2% 木材チップ工場:3.9% 木材流通業:13.7% (対象:有効回答率) LVL工場:100%
	<input type="checkbox"/> 回収率・回答率					
	<input type="checkbox"/> 回収調査票数					
	<input type="checkbox"/> カバレッジ					
	<input type="checkbox"/> その他					
	<input type="radio"/> 設定なし					